

魚の繁殖生態(1)

(ご自由にお持ちください)

シロギスの繁殖行動をビデオカメラで調査しました。通常、シロギスは日没後に産卵しますが、産卵期のはじめには薄暮のまだ撮影可能な時間帯に産卵します。夕刻が近づくに従って、雄の背びれと尾鰭の周縁部分が黒ずんできます。このような変化は、繁殖期以外では観察されません。産卵行動は、一対の雌雄が巡回しながら水槽底から数10cm浮上して放卵・放精し、その後を追った複数の雄が間髪入れずに放精するというものでした。ここで紹介した内容の映像は、海生研ホームページでご覧になることができます。



繁殖期のシロギス雄
(背鰭と尾鰭の周縁部が黒く縁取りされます)

財団法人海洋生物環境研究所は、発電所の取放水等が海の環境やそこに生息する生物に与える影響を科学的に解明する中立的な調査研究機関として、農林水産省、経済産業省、環境省の共管のもと、昭和50年に設立されました。

これまで大規模発電所の取放水が生物に及ぼす影響の解明を中心に海洋環境中の放射能や化学物質の実態把握等の調査研究を国や民間からの委託を受けて実施しております。

海の豆知識 第24号

平成17年7月 発行

発行所

財団法人 海洋生物環境研究所

事務局 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29 帝国書院ビル5階 ☎ (03) 5210-5961
中央研究所 〒299-5105 千葉県夷隅郡御宿町岩和田300 ☎ (0470) 68-5111
実証試験場 〒945-0017 新潟県柏崎市荒浜4-7-17 ☎ (0257) 24-8300

海の豆知識に関するお問い合わせは、事務局までお願いします。
<ホームページ> <http://www.kaiseiken.or.jp/>

かいせいけん

海の豆知識

Vol.24

??? 魚のことわざ ???



財団法人 海洋生物環境研究所

魚のことわざ

(その22)

——トビウオ——

海とその生物にまつわる^{ことわざ} 諺や格言についてお話し
しましょう。

今回のテーマは飛魚(トビウオ=メダカ目=トビ
ウオ科)です。黒潮に乗って日本近海に現れるトビウ
オ科の魚は約20種といわれています。トビウオの尾
びれの下方は、上方に比べ著しく長く伸び、この尾
びれを海面で激しく振って助走し、勢いをつけて空
中に飛び出して、その後は胸びれと腹びれをひろげ
て、グライダーのように水面近くを飛行します。

産卵は夏から秋。全長35センチ。おもに延縄や
刺し網で漁獲されます。

古来、トビウオは塩焼き、すり味、竹輪、蒲鉾等で
親しまれてきました。



2

「一尾飛ぶと下に千尾」

トビウオの漁を占う漁師言葉。一尾は「冰山の一角」。
万と数えられる魚の中で、空を飛べるのはトビウオた
だ一種。トビウオは「春飛び」ともいわれ、春告魚の代
表格。溪流魚、特にヤマメ・アマゴは餌を追って空中
に跳ね、釣り方によっては宙返りの妙技を見せること
もあるが、これはジャンプであって飛行ではない。

「フジヤマのトビウオ」といえば、元日本JOC会長
古橋広之進氏が水泳現役時代の、アメリカにおける異
名・称号。終戦後、橋爪四郎氏と共に競泳自由型四
百・八百・千五百メートルで、泳ぐ度に世界記録を塗り
替え、世界を驚嘆させ、敗戦国日本の鬱憤を晴らした。
まさに、トビウオのような泳ぎであった。

1

「飛魚の豊漁は天草の不作」

〈伊豆七島に伝わる言葉〉。理由ははっきりしない
が、何故か不思議に当たるといふ。飛魚は、その名の
通り唯一滑空する魚。一飛び500メートル、水面から
の高さ約7メートル、滞空時間42秒がギネス記録。飛
び立つときの時速は約70キロメートル。天草は寒天
の材料となる海藻。